

平成25年度 第1回群馬地域審議会における質疑一覧

[平成25年6月3日開催]

1 群馬地域の事業推進状況に係る質疑

内容区分	No	質疑	回答
北谷遺跡保存整備事業について	1	<p>平成24年度第3回地域審議会において、北谷遺跡整備事業は10年くらいの長期計画であること、主たる財源は国によるもので国の財政事情により事業が大きく左右されることなどについての説明があった。また、国の史跡に指定された部分は、今後市が用地交渉を行うとの説明があった。</p> <p>北谷遺跡周辺では今年に入って宅地造成や住宅建築が急速に進んでいる。遺跡地権者への対応や駐車場等周辺地の確保がどうなるのか懸念される。</p>	<p>史跡整備事業は、発掘調査や学術的検討を積み重ねたうえで進めていくため、長期事業となるのが一般的である。</p> <p>市教委では、平成23年度に史跡地の保存管理計画を策定しており、次の段階として公有地化に移行することとなる。公有地化の着手については、本市全体の史跡整備事業の進捗を見ながら検討していきたいと考えている。また、駐車場等の周辺整備についても、史跡整備事業の計画と併せて検討する予定である。</p>
	2	<p>説明板設置場所の除草は平成24年度に何回実施したのか。</p> <p>平成25年度は、何回実施する予定か。</p>	<p>6月から11月までの間に状況を見ながら4回実施した。</p> <p>本年度も同様に4回の実施を予定している。</p>
	3	<p>説明板は草に埋めると見えなくなるので、道路沿いに設置したらいかがか。見やすい場所の方が、見学者に伝わるのではないか。</p>	<p>現在の説明板は、北谷遺跡の中心部から周囲の景観を眺めながら遺跡の価値を理解できるように設置したものである。今の説明板が通行人の目に着きにくい場所にあるとのことであれば、今後見やすい場所への設置を検討したい。</p>
	4	<p>保存面積を2～3倍にし、照葉樹の森を造り詩情豊かな森林公園を併設したらどうか。</p>	<p>遺跡整備は遺跡の歴史的価値に基づき文化庁の許可を得て行われるもので、古墳時代の景観を踏まえて整備しなければならない。北谷遺跡周辺は集落や農地が広がっていた</p>

内容区分	No	質疑	回答
北谷遺跡保存整備事業について			ことは分かっているが、照葉樹の原始林は既に存在していなかったと考えられる。このため、遺跡本体の整備は、要望のような森林公園にはならないと考えるが、史跡指定地の周辺を含めて面積を増加しての公園整備については、将来策定する基本構想のなかで研究したい。
	5	<p>北谷遺跡保存整備事業の前進を要望する。</p> <p>25年度予算も説明板設置場所の除草管理費だけで、計画の具体的進展が見られない。北谷遺跡は歴史・文化ゾーンの中心部に位置する群馬地域の財産であり、市の宝物である。</p> <p>前回の地域審議会でも要望が出ていたが、道路側に北谷遺跡を示す案内板や学童の教材にもなる説明・解説板の設置をお願いしたい。</p>	<p>北谷遺跡の公有地化及び整備の着手については、本市全体の史跡整備事業の進捗を踏まえながら検討していきたい。</p> <p>道路側への案内板等の設置についても検討していきたい。</p>
北谷遺跡保存整備事業・史跡上野国分寺跡整備事業について	1	<p>群馬地域の施策展開の柱として「時代を超えた多彩な歴史遺産や数々の文化施設を活用したまちづくりを進める」とあるが、このことから重要なことは次の点である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 北谷遺跡の整備に早期着手すること</li> <li>2. 県との連携で上野国分寺跡の整備を進めること</li> </ol> <p>特に、上野国分寺跡は県の事業であるが、地域活性化の仕掛けとして例えば周辺の史跡との連携、道の駅の整備などを隣接の前橋市と一緒に進めていただきたい。</p>	<p>北谷遺跡の整備着手については、本市全体の史跡整備事業の進捗を踏まえながら、検討していきたい。</p> <p>国分寺跡の整備推進に関しては、群馬県も昨年度から東国文化事業を推進しており、本市としても県と連携を図りながら、主にソフト面での協力を進めたい。</p> <p>道の駅などの地域活性化対策に関しては、関係部局と連携しながら研究していきたい。</p>

内容区分	No	質疑	回答
北谷遺跡保存整備事業・史跡上野国分寺跡整備事業について		賑わいの創出ということを中心にした施策を展開していただきたい。	
群馬中央第二土地区画整理事業について	1	平成24年度の事業実績の各件数はいくつか。 平成25年度の事業予定の各件数は、当初いくつか。	平成24年度事業については、道路築造、舗装等の工事関係6件、建物調査、文化財調査等の委託業務8件、建物等の移転補償16件である。 平成25年度事業については、道路築造、舗装等の工事関係4件、建物調査、文化財調査等の委託業務7件、建物等の移転補償11件である。
	2	西毛広域幹線道路が、高渋バイパス・辻久保から県道高崎渋川線に延びつつあるが、本年度施工予定箇所より西側はいつ頃を目途に開通する予定か。 高崎渋川線から西へはどのような予定となっているのか。	平成28年度から平成30年度での暫定開通を目指していく。 高崎渋川線から箕郷町下芝までは、県事業であり県議会常任委員会で平成34年度までに事業化される予定と報告されている。
	3	群馬中央第二土地区画整理事業の地区内居住者（特に市道観音寺～引間線の北側居住者）への着工、完了時期等の個別説明をお願いしたい。 本事業計画が決定されて既に20有余年になった。これまで、大型店進出対策に合わせた地域は都市計画が進展しているが、10年間凍結地区では遅れている（平成13年区画整理反対派と町長の間で覚書を締結）。	実際の工事が始まったのが平成13年度となり、その後、地区東部（1の区域）を優先的に整備しているが、後2年程かかる予定である。 地区西部（2の区域）については、平成23年度末で事業凍結が解除となり、本年3月に現道を活かした事業計画変更が決定したので、本年度から順次整備する予定である。 整備順序については、地域住民の要望からも幹線道路を

内容区分	No	質疑	回答
群馬中央第二土地区画整理事業について		<p>しかし、高崎市は平成19年度から5年間に渡って実施した「町づくり検討会」のワーキンググループ等で市民の意見を反映した事業計画変更案を策定し、国、県への手続きをしている。</p> <p>当地域の居住改善課題として、①雨水、浸水問題の解消②下水道の早期整備③交通安全対策（死亡事故も発生している恒常的事故多発交差点がある。）の必要性等がある。</p> <p>本事業の実現は群馬地域中心部の構築や発展、また、生活居住環境の改善にとっても重要であり、早期実現を望む。</p> <p>事業への協力意志と期待を持っている多くの地域住民への丁寧な説明をお願いしたい。</p>	<p>優先的に整備し、次いで雨水・下水整備及び地形の関係で地区南部からの整備となり、最後に市道引間・観音寺線以北となる。</p> <p>ただし、市道引間・観音寺線以北についても、幹線道路や1の区域の隣接箇所については適宜整備する予定である。</p> <p>いずれにしても基盤の目状の大規模な計画から現道を活かした計画となり、早期の事業完了が見込まれる。</p> <p>説明等の実施については、集団での説明より個別がよいとの要望から昨年より相談所での相談会を中心に実施しているが、集団での相談会等の実施要望がある場合は、路線毎等で実施したい。</p>
菅谷高畑土地区画整理事業について	1	この事業に国・県からの予算配分がない理由は何か。	菅谷高畑土地区画整理事業は、事業主体が組合であり、国から組合への予算配分はあるが、事業進捗状況表については、市から組合への予算配分の記載となっている。
	2	平成24年度の事業実績の各件数はいくつか。 平成25年度の事業予定の各件数は、当初いくつか	<p>平成24年度事業については、道路築造、舗装等の工事関係4件、建物調査、文化財調査等の委託業務4件、建物等の移転補償9件である。</p> <p>平成25年度事業については、道路築造、舗装等の工事関係3件、建物調査、文化財調査等の委託業務4件、建物等の移転補償7件である。</p>

内容区分	No	質疑	回答
上水道管網整備事業について	1	<p>平成24年度第3回地域審議会で配布された「平成24年度配水管布設替工事施工箇所位置図」にはNo.6とNo.7の表記がないが、これは平成24年度の下期に施工されたということか。</p> <p>平成25年度の施工箇所はいつ決定するのか。</p>	<p>ご指摘のとおり平成24年度の下期に施工され、平成25年2月末に完成した工事である。</p> <p>配水管布設替工事は平成25年度予算が決定した時点で7箇所施工の予定である。現時点では4月発注1箇所(菅谷町地内)、6月発注1箇所(引間町地内)が決定している。残りの5箇所も平成25年度施工の予定であるが変更の可能性もある。</p>
汚水管渠整備事業について	1	<p>群馬地域全体の計画に対して、進捗整備率は何%であるか。</p> <p>事業予算の区分「その他」とは、具体的にはどのような財源であるか。</p> <p>平成25年度についても「年度別事業計画」上は、整備面積4ha、延長1,408mを見込んでいるのか。</p>	<p>平成24年度末現在で、面積計算に基づく整備率は28.0%、人口計算に基づく普及率は25.4%である。参考までに、高崎市全体の整備率は60.0%、普及率は71.1%であり、高崎地域の整備率は67.5%、普及率は87.6%である。</p> <p>排水設備を下水道に接続する際、受益者負担金(一般住宅・1戸90,000円)を納入してもらおう。受益者負担金の全額を事業費に充当している。</p> <p>面積は3~4ha、延長は1,000~2,000mを見込んでいる。</p>

## 2 その他の質疑

内容区分	No.	質 疑	回 答
防災対策について	1	<p>群馬県地震防災戦略が3月に策定されたが、高崎市としてはどのような取り組みをしているのか。現在進行中のもも含めて、聞かせていただきたい。</p> <p>災害時の各家庭における食糧備蓄（3日分）の啓蒙など、どのように取り組んでいるか。</p> <p>ハザードマップはできているか。</p> <p>地震で一番心配されるのが家屋の倒壊であるが、昭和56年以前の耐震強度の弱い建物は、高崎市にどのくらいあるのか。</p>	<p>現在高崎市では、地震被害想定調査に基づき、3日分の避難所生活者数の食料や生活必需品の備蓄に努めている。避難生活者数約9万人に対して目標備蓄数約12万6千食を設定し、備蓄倉庫等に配備をしている。各家庭においては、最低3日分の非常用飲料水や食料等を備蓄するよう、市民に対し出前講座などの機会を捉え啓発を行っている。</p> <p>本市のハザードマップは、市内7河川がはん濫した際の浸水の範囲や深さなどを示し、併せて県が調査した、地すべり、がけ崩れ、土石流の危険箇所を地図上に示したものであり、日常からの備えや災害発生の際の避難行動等に役立てていただくため、平成21年から平成23年にかけて市内全世帯に配布している。</p> <p>高崎市耐震改修促進計画では、昭和56年以前の住宅数を総務省統計局による住宅・土地総計調査による推計値として把握している。平成20年現在の本市の住宅総数は、約136,260戸であり、うち、耐震性のある、昭和57年以降に建てられたものが約91,370戸、昭和56年以前の建物で耐震性があると思われるものが、約9,120戸と推計される。住宅総数から耐震性のあるものを引くと、約35,770戸と推測される。</p>

内容区分	No.	質 疑	回 答
防災対策について	2	<p>民生委員の立場から、一人暮らし高齢者の増加に伴う日ごろの安全安心の見守り活動の中で、特に災害発生時の避難方法や救済活動について心配をしている。</p> <p>群馬地域における防災体制の現状と今後の取り組みについて聞きたい。</p>	<p>高崎市では地域の防災力を向上させていくことを目的として、「災害緊急連絡網」及び「災害時要援護者支援プラン」を推進することとし、今年度はモデル事業を実施している。このモデル事業は、区長をはじめ地域住民の協力を得て、市内7地区で実施しており、群馬地域では金古町王塚町内会に協力をいただいている。モデル事業の内容としては、「災害緊急連絡網」は、地区内に在住の皆様に対し、避難情報等を伝達する仕組みを整備するもので、電話や直接の声かけなどの連絡手段を利用し、災害時だけでなく日常の地域の輪作りにも活用する。「災害時要援護者支援プラン」は、一人では避難が困難な要援護者を地域で支援し、避難誘導などを行う仕組みをつくり、地域全体が安全に避難するための計画を整備するものである。各地区で、区長をはじめ、民生委員や地区役員などが中心となり、主体的な活動を行っていただいております。また、できあがった連絡網及び要援護者の避難支援の仕組みを活用した避難訓練が実施された地区もある。</p> <p>今後もモデル事業で得られた成果をもとに、段階的に全市に拡大するため、町内会に対する支援を進めていきたいと考えている。</p>
管理職への女性登用について	1	<p>高崎市の25年度人事異動を見て、女性の管理職登用が少なすぎるのではないかと思った。男女共同参画の面から、</p>	<p>人事異動については、男女を問わず、適材適所を考えた管理職の登用を行っている。</p>

内容区分	No.	質 疑	回 答
管理職への女性登用について		<p>また、地域行政が男性の視点や考えからしか見られないのは、一市民として不満であり不安でもある。能力的に判断され、平等に人事を行っていると思うが、女性として不公平感を否めない。</p> <p>市長の考えを聞きたい。</p>	<p>これまでも、女性職員の管理職登用の推進には努めており、その結果、全管理職に占める女性管理職の割合は着実に増加している。今後も、管理職にふさわしい優秀な女性職員の登用とともに、障害者の採用などについても着実に増やしていきたいと考えている。</p>
群馬公民館跡地について	1	<p>群馬公民館が解体され整地された状態にあるが、どのような施設ができるのか。</p> <p>施設の目的、規模や予算、完成時期についての概要を聞きたい。</p>	<p>当該地は、昨年度に公民館の解体工事が完了し、今年度から地域振興課が管理している。</p> <p>現在は支所及び保健センターへの来庁者駐車場として使用するとともに、周辺公共施設（市民活動センター、福祉会館、図書館など）の臨時駐車場としても利用している。</p> <p>今後の具体的な利活用計画は決定していないが、当該地は公共施設が集積する地域の一角にあり、大変利用価値の高い用地であるため、市全体の中で利活用を検討していく必要があると考える。</p>
	2	<p>群馬公民館跡地の利用方法は検討されているか。</p> <p>検討段階であるならば、消防団群馬方面隊第2分団詰所及び群馬分署（行政関係）の建て替えができないか。</p>	<p>現段階では具体的な利用方法は決まっていない。</p> <p>要望である分団詰所や群馬分署の建替え用地については、今後分署等の建替え問題が具体化してきた段階で移転建替え用地の一つとして検討しなければならないと認識している。</p>

内容区分	No.	質 疑	回 答
群馬公民館跡地について			群馬方面隊第2分団詰所、群馬分署庁舎は、竣工後40年以上経過しており、老朽化等課題として認識している。消防局では、これらの課題に対し、現在様々な面から関係部局と協議を実施している。
	3	分署は地域の消防活動や災害時の対応の拠点となるべき施設であるが、現在の群馬分署は機能的にも建物的にも老朽化している。 分署の移転先として群馬公民館の跡地は、適当と思われるので早急に取り組みを要望する【要望】。	【要望】
独居老人について	1	独居老人の把握を行い、緊急時の対応がとれるよう、少なくとも各区の班長には公表してもらいたい。 個人情報保護法により、情報を取り扱う事業者に対して個人の権利と利益を保護するための義務が課せられていることは承知した。町内会では、日ごろから地域の支え合いの輪を広げていくという方法しかないのか。	高崎市は、群馬県の依頼により毎年6月1日を調査基準日として「ひとり暮らし高齢者基礎調査」を実施している。調査は、各地区の民生委員へ依頼し、居宅で生活している65歳以上（昭和23年6月2日以前生まれの方で、養護老人ホーム・特別養護老人ホーム・ケアハウス等施設入所者及び概ね100日以上入院者は除く。）のひとり暮らしの方を対象としている。 調査内容は、緊急時の連絡先や健康状態等の聞き取りで、高齢者施策のための統計資料として活用するほか、同意を得られた方の調査情報のみ、災害時の避難や安否確認等の情報として提供している。 現状では、調査情報の提供に関しては、災害時等における安全確保や在宅支援のため、守秘義務がある高崎市関係

内容区分	No.	質 疑	回 答
独居老人について			<p>部署、民生委員、警察、消防等に限られており、班長へ個人情報を提供することは難しい状況である。</p> <p>なお、高齢化が益々進行し、地域にはひとり暮らし高齢者だけでなく、高齢者のみの世帯も増加する中、緊急時のみならず、日ごろからの見守りが必要となるため、本庁所管課及び地域と連携しながら地域支え合いの仕組みを構築したいと考えている。</p> <p>市役所は、市民の個人情報を把握しているが、守秘義務があることを理解願いたい。</p>
ごみの減量化推進と資源物回収について	1	<p>5月4日の上毛新聞に「ごみ排出量抑制11年度全国ワースト2位」という記事が掲載されたとおおり、本県のごみの排出量は全国でも最悪の状況である。</p> <p>高崎市においても、本問題を担当部署及び環境保健協議会が認識し、広報や回覧物等で資源物回収とごみの減量化を市民に訴えてはいるが、中々効果が上がらない現状がある。</p> <p>近隣の方と有価物集団回収や燃やせるごみの話をする と、広報や回覧物を見ていない、知らないということを痛感される。そこで、燃やせるごみステーションに「古紙は貴重な資源物です。燃やしてはモットイナイ→有価物資源回収へ」と目に留まる看板を掲示したらどうか。全ステーションに自立型の看板を設置したら費用もかかると思</p>	<p>家庭から排出されるごみは、資源化の可能な紙(包装紙等)が多く混入している現状にある。個人の意識向上が大きな課題となっている状況で、「ごみかわら版」や「広報たかさき」、回覧等で周知に努めているが、大きな効果が現れていないのが実情である。</p> <p>「自立型立て看板」の製作については、群馬地域内の可燃物ステーションが、現在約730箇所存在し、設置となると高額な予算が必要となり、更に管理も伴ってくる。</p> <p>また、常設看板を設置することにより、ステーションの存在を地域以外にも周知することになり、地域外の通過車両等からの不法投棄を招く結果にもつながることから、群馬地域では常設看板を極力設置しない方針である。</p> <p>今後の啓発方法として、ごみの減量化・資源化に加えて</p>

内容区分	No.	質 疑	回 答
ごみの減量化推進と資源物回収について		<p>うが、ごみの減量化に伴うコストの低減に見合ってくるのではないか。</p> <p>看板は、現状各地区の責任で製作、管理をすることになっており、市では紙の印刷の協力程度である。地域での看板製作では、体裁や耐久性に限度があり良いものは作れない。人の目に留まる看板の設置により、ごみの減量化の効果があげられると思うが、いかがか。</p>	<p>一般家庭からの「台所ごみ」に多くの水分が含まれていることから「生ごみの水切り」の啓発及び「有価物集団回収団体」への啓発育成に努めていく。</p> <p>啓発の方法については、今後も検討を重ねながら、ごみの減量化に取り組んでいく。</p>
道路整備について	1	<p>県道の右折車線設置と歩道整備に重点をおくこと。</p> <p>市道も同様に見直すこと。</p>	<p>交通事故防止と交通渋滞の解消のための右折車線の設置は、有効な手段であると考えている。しかし、交差点の改良を行う際には警察をはじめとした関係部署との調整や用地確保が必要となるので、実現が可能か否か十分検討したいと考える。</p> <p>なお、今回の意見は、県道を管轄する高崎土木事務所へも依頼する。</p>
市民活動センター「ソシアス」について	1	<p>ソシアスの活用実績はどうか。</p>	<p>開館から1年を経過して利用者数は順調に伸びている。駐車場が充実しており、事業が重なった場合にも群馬支所の駐車場を借用し、連携をとった対応により今後もさらに利用団体の増加が見込まれる。また、利用者からの要望に対しては、優先順位をきめてその都度対応をおこなっている。</p>

内容区分	No.	質 疑	回 答
群馬プールについて	1	<p>今年は群馬プールの再開のため、3月26日から6月28日の工期で改修しているようだが、工期内に完成するの か。</p> <p>また、住民が待望しているので、プール利用期間を1日 でも長くして欲しい。</p> <p>プール開きは、いつの予定か。</p>	<p>群馬プールは平成元年にオープンし、以降多くの市民に 利用されてきた。老朽化が進んだことから平成23年度か ら2年間休場し、現在リニューアル工事を行っている。</p> <p>工事完成後も水張り等の準備期間を要すことから、7月 20日の開場を予定している。多くの皆さんに利用してい ただくため、閉場は市内小中学校の夏休み期間と合わせ9 月1日（日）を予定している。</p>
金古運動広場につい て	1	<p>グラウンド内に散水できない箇所がある。対処できな い か。</p>	<p>金古運動広場の軟式野球場及び少年野球場には、それぞ れスプリンクラーが設置され、グラウンドへの散水ができ るようになっている。しかし、軟式野球場のうちベンチ及 びバックネット前については、スプリンクラーの散水範囲 の形状により、当初から散水範囲外とし、ホースを用いた 散水で対応することとしている。</p> <p>また、ホースによる散水の場合、乾燥の度合い等の条件 により、ホース口径の太いもの、細いものを使い分けてい る。</p>
群馬総合運動場につ いて	1	<p>フェンスが壊れている場所がある。修理ができないのか。</p>	<p>多目的広場及びミニ広場の一部で、老朽化によりネット フェンス下部の金具が壊れ、ネットがめくれ上がっている 箇所がある。破損箇所については、職員が応急処置を施し ている。抜本的な対策については、今後、検討したい。</p>

内容区分	No.	質 疑	回 答
小・中学校の土曜日授業について	1	<p>現在、学校教育の一環としての小中学校の土曜日授業が囁かれている。高崎市では地域を中心とした寺子屋方式のことを耳にしたが、地域での偏りが心配される。</p> <p>高校では、隔週で土曜日の授業が行われているが、小中学校も隔週での土曜日の授業実施の方向で検討できないか。</p>	<p>土曜日授業については、文科省や群馬県教育委員会からの方針がはっきり打ち出されていないが、本市においては学校の授業以外でも勉強したいと思っている子どもに地域の協力をいただき、学習の機会を広げていきたいと考えている。地域の実情に合わせ、放課後や土・日曜日での実施を教育委員会として推進していくので、是非とも実施に向け協力をお願いしたい。</p>
工業団地の新設について	1	<p>群馬地域にミニ工業団地を造る計画は、今後はないのか。</p> <p>前橋・富岡線を活かした、広さ6～7ha程度の団地を造り、雇用の場を地域で創り出してはいかかがか。</p>	<p>現在、群馬地域の工業団地については、足門工業団地が手狭であることから、拡張を希望する相談を受けている。</p> <p>これに伴い、群馬県と協議をしており、今後新たな企業の誘致も含め拡張計画を検討していきたい。</p>
高崎市について	1	<p>大津市のいじめ問題の後に、全国に先駆けて、いち早くいじめが起きないための徹底した会議が開催されたことや、広報高崎がコンクールで入賞したことなど、最近高崎市がいろいろな面で活発化していることなどが報道されており一市民として大変嬉しく思っている【意見】。</p>	<p>【意見】</p>